

【 会 議 録 】 (概要)

日時:平成27年5月20日(水) 19:00~21:00

会議名	平成27年度越谷市自治基本条例推進会議 第2回会議	場所	越谷市役所第三庁舎1階 第3・4会議室
件名 議題	1 開会 2 協議事項 (1)自治のまちづくり推進のための仕組みづくり・環境整備について(指標を設定しての進行管理の仕組み構築について) (2)自治基本条例のさらなる普及のための具体的な方策について 3 その他 4 閉会		
資料等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
出席者	出席委員 佐々木会長、石崎副会長、駒崎委員、齋藤委員、白岩委員、鈴木委員、松原委員、村田委員、大野委員、雨宮委員、横家委員(11名) 欠席委員 黒田委員、淵野委員、原田委員、三澤委員 事務局 佐々木企画部副参事(兼)企画課長、早山企画課調整幹、根本同主事、丸岡同主事(4名) 傍聴者 なし		
内 容	別紙 会議録(要旨)のとおり		
●合意・決定事項等 ・自治のまちづくり推進のための仕組みづくり・環境整備について(指標を設定しての進行管理の仕組み構築について)及び自治基本条例のさらなる普及のための具体的な方策について、ワークショップ等の手法を取り入れ協議した。次回の会議では、引き続き、自治基本条例のさらなる普及のための具体的な方策について、また、報告書のまとめ方について協議することとした。 ・平成27年度第3回会議を7月28日(火)午後7時00分から開催することとした。			

会議録（要旨）

1 開会あいさつ（会長）

こんばんは。

本日は今年度第2回目の会議です。今年度は全部で6回の会議を予定しており、来年1月頃に報告書を提出する予定になっています。のちほど事務局から説明があるかと思いますが、本日はワークショップ形式で協議をしていただきたいと思いますと考えています。よろしくお願いいたします。

事務局あいさつ（佐々木企画部副参事）

こんばんは。お忙しい中、会議にご出席いただきありがとうございます。

本日は、今までいただいたご意見を、協働の仕組みをつくる上での現状と課題、それに対する取り組みとして整理した資料をご用意しました。今回の会議で皆様の共通認識を図っていただければと思います。

また、協働に関する取り組みのひとつとして、大学との連携というものがあります。大学は知識の拠点であり、地域の拠点でも考えています。市では大学と連携協定を結んでおり、市と大学でどのように協働を進めていけるかということについて毎年協議を行っております。そのような取り組みもありますので、この場をお借りしてご紹介させていただきました。

本日はワークショップ形式を取り入れ、より一層活発にご意見をいただければと考えております。よろしくお願いいたします。

2 協議事項

- (1) 自治のまちづくり推進のための仕組みづくり・環境整備について（指標を設定しての進行管理の仕組み構築について）
- (2) 自治基本条例のさらなる普及のための具体的な方策について

- ・事務局が、自治のまちづくり推進のための仕組みづくり・環境整備について（指標を設定しての進行管理の仕組み構築について）、【資料1】（報告書をまとめるにあたっての調査審議の視点（修正案））に基づいて説明した。また、自治基本条例のさらなる普及のための具体的な方策について、【資料2】（自治基本条例の普及に関する取り組み一覧）に基づいて説明した。

(会長) ありがとうございます。【資料1】には、前回までのみなさんからの主な意見が組み込まれているかと思います。また、これまで自治基本条例の普及に関して、さまざまな取り組みが行われてきましたが、市民になかなか浸透しないことが課題です。自治のまちづくり推進のための仕組みづくり・環境整備について協議していく上で、さらなる普及のための具体的な施策についても検討していく必要があるのではないかと思います。これまでの説明について、ご意見等がありますか。

(A委員) 前回までに出た意見を生かした話し合いができれば良いと思います。

(会長) ありがとうございます。その他に意見がないようであれば、ワークショップをはじめたいと思います。

- ・2つのグループに分かれてワークショップを実施した。

(会長) それでは、時間となりましたので、それぞれのグループごとに内容の発表をお願いします。

・2つのグループが順番にワークショップの結果を発表した。(【別紙1】及び【別紙2】のとおり)

- (会 長) 2グループに分かれて議論していただいた中で、出た意見に共通する部分も多かったようです。【資料1】で示された枠組みに上手く肉付けをするような議論ができたと思います。2グループの発表を受けてご意見があればお願いします。
- (B委員) 協働を担っている組織のうち、高度経済成長期から存在している組織は、当時から体制や活動内容が大きくは変わっていないものもあると思います。当時に比べて、現在は資金が乏しく、ニーズが多様化しています。組織の世代交代を進め、現状に合った体制や活動内容に変えた上で、さまざまな組織同士で連携をすると効果的だと思います。また、地域内の多様なニーズは、さまざまな団体が解決すると良いと思います。そのために、有償ボランティアも含め地域に資金を投じて、地域でお金が循環するような仕組みをつくることができれば良いと思います。また、新たな協働事業を提案するための窓口がないということが課題だと思います。市民活動支援課と市民活動支援センターの連携を密にして、市民活動支援センターを中心に集まるさまざまなニーズを、市民活動支援センターを通してNPO等の市民活動団体に任せるとすると良いのではないかと思います。ニーズ自体を行政で解決するのではなく、市民活動団体等に頼むような仕組みをつくと良いと思います。
- (会 長) 限られた財源をどのように有効に使うか、多様化している市民のニーズをどのように解決するかを考えていく必要があります。行政が直接実施すると費用が多くかかる事業を、地域に出資することで有償ボランティア等に担ってもらおうということも、一つの方法としてあると思います。
- (C委員) 地域コミュニティ組織が行う事業は、地域コミュニティの活性化という視点から、イベントが多い印象があります。地域コミュニティ組織が行う事業のうち、福祉分野の活動を拡大して、地域内のニーズに対応していけると良いと思います。
- (D委員) さまざまなニーズがあり、市のお金を投じるべきと考える事業が人によって異なります。あまり予算を使わないで行える方法も考えていく必要があると思います。
- (E委員) さまざまなニーズを、いろいろな人が地域の中で明示して、地域で優先順位をつけて解決していけると良いと思います。
- (F委員) 市議会等を傍聴すると、市の予算のつき方や予算のつく理由などが分かります。今後も勉強していきたいと思います。
- (会 長) ありがとうございます。今回のワークショップでは、課題とそれに対する取り組みを考えるという、良い整理の仕方ができたと思います。今回出た意見を踏まえ、次回会議では、引き続き「自治基本条例のさらなる普及のための具体的な方策について」、また、「報告書のまとめ方について」協議することとしてよろしいでしょうか。

●合意・決定事項等

- ・次回の会議では、引き続き、「自治基本条例のさらなる普及のための具体的な方策について」、また、「報告書のまとめ方について」協議することとした。

3 その他

- ・事務局が、次回の日程等について説明した。

※平成27年度第3回会議を7月28日(火)の午後7時00分から開催することとした。

※平成27年度第3回会議の協議事項である自治基本条例のさらなる普及のための具体的な方策につ

いて及び報告書のまとめ方について、6月1日（月）までにメーリングリスト等を活用して事務局に意見を提出することとした。

4 閉会（副会長）

本日は協働の仕組みと普及の方策について、これまでの意見への肉付けというようなかたちでご協議いただきました。素晴らしい発想、いろいろな考え方が出されたように思います。報告書として良いかたちでまとめれば嬉しく思います。本日は、長時間にわたりありがとうございました。次回もどうぞよろしく申し上げます。